

単語	意味	参考単語	各県	結果	表現の仕方	本委員会 結果	検討経緯
1 乳液	①乳色の液体。 ②化粧用の乳状クリーム。		北海道	◎	乳液を手に取り、なじませ顔に塗る様子	クリームB クリームC： 保 保存手話	乳液に限らず、化粧品は様々な種類があるので、整理して検討した。 (拡大本委員会で、女性研究員を中心に検討)
			東北	◎	左掌に軽く握った右手を振り、両掌をすり合わせる	クレンジングクリーム： ● 組み合わせ	クリームB：左手掌を右手指先でなじませるように回す クリームC：両手指先で両頬にクリームをぬるように回す
			関東	ア	左手掌の上で右手の親指と4指を数回縦にこすり合わせ、右手4指の腹で右頬を2回なで下ろす(乳液をつけている)	洗顔クリーム： ● 組み合わせ	クレンジングクリーム →化粧品を落とすもの。 ⇒両頬を両手指先で撫で下ろしく捨てるの動作+<クリームB>もしくは<クリームC>
			北信越		白+液を手取る仕草	化粧水B： ◎ 創作手話	洗顔クリーム →洗顔するためのもの。 ⇒両手で顔を洗うしぐさ+<クリームB>もしくは<クリームC>
			東海	×	女性にお願いしたい。	乳液： ● 組み合わせ	化粧水B ※Aは2017年9月に確定 →両手でほおにつけて、パタパタすることが多い。 ⇒①<ローションB>(右手を軽く握って左手掌に向けて2回振る)②両手で頬に化粧水をつけるように、2回パタパタする
			近畿	◎	「乳」+顔を塗る	保湿クリーム： ● 組み合わせ	乳液 →ミルクのような液体を顔に塗る ⇒①<ミルク>②<クリームC>
			中国	●	つけて+肌触る	美容クリーム： ● 組み合わせ	保湿クリーム →湿度を保つためのクリーム ⇒①<保障・守るB>②<クリームB>もしくは<クリームC>
			四国	?	乳液を振って手のひらに出し、顔につける様子をする	コンシーラー： ● 組み合わせ	美容クリーム →美容のためのクリーム ⇒①<美しいB・きれいなわ1-108・学I-375>②<クリームB>もしくは<クリームC>
			九州	○	左手手話「乳」右手手話「化粧する」	ファンデーションB： 保 保存手話	コンシーラー →クマやシミを隠す時に用いられるもの。 ⇒①<補正・補うB>②右手人差し指で頬のシミにピンポイントで塗るように小さく回す
2 界面活性剤	界面(物質の境の面)に作用して、性質を変化させる物質の総称です。 構造としては、1つの分子の中に、水になじみやすい「親水性」と、油になじみやすい「親油性」の2つの部分を持っています。 この構造が、本来、水と油のように混じり合わないものを、混ぜ合わせるのに役に立ち、汚れを落とす洗浄の働きをするのです。代表的なものに石鹸(脂肪酸塩)があります。また、洗剤の他にも、医薬品、化粧品、食品などの成分としても広く使われています。		北海道	◎	水の上に油が浮かぶ様子+「混ぜる」	◎ 創作手話	界面(物質の境の面)に作用して、性質を変化させる物質。 →イメージ通りの表現とすると、両手で界面を表し、性質変化の様子を表現することになる。 ⇒①5指を曲げた両手甲側を上下につけ合わせ、②指を伸ばして馴染ませるように回し③<刺>ふりかけ
			東北	◎	左手<W>と右手<O>で左右から中央に移動		
			関東	ア	親指と4指を軽く曲げて離れた両手を上下に付け(2層に分かれている様子)、右手を下げて左手と向い合せ両手の指先を絡めながら動かす+「効果」(学I P40)		
			北信越		そぐわない+仲良し+薬		
			東海	●	両手の手のひらを上に、中央で混ぜる + 薬		
			近畿	◎	界面活性剤の図案の様子		
			中国	×			
			四国	◎	肘を曲げた左手を胸の前に出す + 「変わる」+「剤」		
			九州	ア	手話「薬」の3指で指文字「か」		
3 馬耳東風	人の意見や批判などを心にとめず、聞き流すことのとえ。 「東風」は春風のごとく、暖かい春の風が馬の耳元に吹いてきても、馬は何も感じないことから。 (例：彼には意見しても馬耳東風だ)など)		北海道	△	耳に入る音をもう一方の手で跳ね返す様子	保 保存手話	これは、保存手話がいづつか見られる。 ⇒A:<聞き流す>と同じ ※関東班・東海班・近畿班・中国班の案を採用 B:<返事等>と同じ C:<スルー>と同じ ※東北班・北信越班・近畿班・九州班の案を採用
			東北	保	両人差し指を一緒に後ろに動かす		
			関東		学I P83に有り		
			北信越		聞き流す(地元で使っている手話)		
			東海	●	右手の人差し指で右から右耳に当て、左手の人差し指で左耳から出す		
			近畿	保			
			中国		耳に入って+ 耳から抜ける		
			四国	保	右手指先を額の前に出し、左右に振る		
			九州	保	手話「見逃す」		
4 レーザー	波長の短い強力な光を発生・増幅する装置。 精密な測定、材料の高速で精密な切断等の加工、通信、印刷、医療などに応用され、用途が広い。 (例：「レーザー光線」「レーザーメス」など)		北海道	○	左手「レ」+右手「線」	○ 合成	光を増幅して放射する。 →人差し指を前に出すことで、その様子を表せる。 →「レーザー」であることがわかるように、指文字「レ」も付ける必要がある。 ⇒左手<レ>の下から右手人差し指を前に出す ※関東班・北信越班・東北班・四国班の案を採用
			東北	◎	<レ>をだんだん細く右前方に移動		
			関東	ア	左手指文字「レ」の間から指先を前に向けた右手人差し指を波打たせながら前に出す		
			北信越		指文字「レ」+照射		
			東海	◎	左手で指文字「レ」を表し、左手の親指の先から、右手の人差し指を前方に突き出す		
			近畿	◎	レーザーを照射する様子		
			中国		指文字で表現		
			四国	◎	「レ」を斜め前に出す		
			九州	ア	左手アルファベット「L」右手手話「光」		
5 笹	イネ科の多年生植物。 一般に丈の低いタケ類をいう。山野に群生し、クマザサ・アズマネザサ・ミヤコザサ・ネザサなど種類が多い。葉は長楕円形で先がとがる。かご・ざる。その他細工物を作るのに用いられ、実が食用になるものもある。		北海道	保	口の下に人差し指をつけ、肘側に2回引く	ア アレンジ	「竹」と同じになるか？ →見た目は似ているが、性質は異なる。 →指文字で事足りるか？ →人名や食物などで使われることを考えると、手話があった方が望ましい。 →笹の特徴は、その葉っぱの先が鋭いこと。 ⇒<葉>(指先上向き)を同じ位置で小さく2回表す
			東北	◎	両手2指を交互に、開いて閉じる		
			関東	ア	「竹」(学I P490 両手2指の輪を上下につけ、右手を上げては止める)を表し、先のほうで右手2指の指先をつけ開閉して細長い「葉」の形を描く		
			北信越		笹の葉っぱから		
			東海	●	「竹」+「葉」		
			近畿	ア	「葉っぱ」の表現を細くする		
			中国	△	葉っぱ		
			四国	◎	両手で「さ」を位置をずらして出し、その形から「葉」を表現する		
			九州	ア	左手指文字「さ」右手手話「葉」		
6 永い	「長い」「永い」のどちらも時間的な表現に使うが、「長い」は単にながい時間を表し、「永い」はいつまでも続く永続的・永遠的なことを表す。 「永い」は永続的な表現となることから、「永いお付き合い」と書くよりも、「永いお付き合い」と書いた方が、いつまでもお付き合いしたいという印象を与える。また、永遠的なことを表すため、「永い眠りにつく」など、死に関する表現でも「永い」は用いられる。		北海道	△	「永遠」の手話利用	保 保存手話	保存手話が見られるので、これを採用した。 ⇒<長い>の右手を前に出す ※東海班・近畿班・九州班の案を採用
			東北	△	前方に「続く」と同じ		
			関東	ア	両手2指を平行に伸ばして狭め、顔の前で左手前にして前後に構え右手を前に出す		
			北信越		水久の手話を前方に出す際、少ししたるませて長さを強調		
			東海	保	つまんだ両手を胸前に、右手は前方に伸ばす。		
			近畿	保			
			中国	△	永遠、永久の手話と同じ		
			四国	△	「永遠」		
			九州	ア	手話「長い」を時間軸を表す前後で表現する。		
7 空洞	①ほらあな。洞穴。また、内部がうつろいになっていること。また、その部分。(例：「幹が空洞になった老木」など) ②形式だけで内容のないことのとえ。(例：「法案の空洞化をはかる」など) ③肺・腎臓などの内部に壊死(えし)が起こり、それが排出または吸収されたあとにできる空間。肺結核のときにできるものなど。 ※築地市場の豊洲移転に関して問題になりました。		北海道	◎	左手「地面」+「空っぽ」の手話利用	△ ラベル追加	何か物があり、その中が空っぽであること。 →<空白・ブランク>と同じ表現が、これに相当する。 ⇒<空白・ブランク>にラベル追加 ※東海班の案を採用
			東北	ア	右手だけで「空っぽ」を移動させながら		
			関東	ア	左手国際手話「C」の間に右手4指を手前から差し入れて指先を上下に動かす		
			北信越		からっぽ		
			東海	●	左手を「コ」の形に、右手で左手の空間を前後に動かす(空)		
			近畿	ア	「からっぽ」の左手は丸く空洞を作る		
			中国	×			
			四国	ア	肘を曲げた左手を胸の前に出し その下を右手で「何も		
			九州	ア	左手指文字「こ」右手手話「無い」		

8	<p><b>準中型免許</b></p> <p>現行の中型免許と普通免許の間に新規併設される運転免許。 普通免許が無くても18歳から取得できる。 免許区分は、車両総重量7.5t未満・最大積載量4.5t未満・乗車定員10人以下で、2017(平成29)年3月12日に施行される。</p>	<table border="1"> <tr><td>北海道</td><td>●</td><td>「準」+「中」+「免許」の手話利用</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「準」+「中」+「免許」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「中」(学I P140)+「副・準じる」(学I P57)+「免許」(学I P502)</td></tr> <tr><td>北信越</td><td></td><td>順+中+免許</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>「準」「中」「免許」</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>●</td><td>「準」+「中」+「免許」</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>準+中+免許</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>「準」+「中」+「免許」</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>手話「準」+手話「中」+手話「免許」</td></tr> </table>	北海道	●	「準」+「中」+「免許」の手話利用	東北	●	「準」+「中」+「免許」	関東	●	「中」(学I P140)+「副・準じる」(学I P57)+「免許」(学I P502)	北信越		順+中+免許	東海	●	「準」「中」「免許」	近畿	●	「準」+「中」+「免許」	中国	●	準+中+免許	四国	●	「準」+「中」+「免許」	九州	●	手話「準」+手話「中」+手話「免許」	<p>● 組み合わせ</p>	<p>準中型に限らず、運転免許は様々な種類があるので、整理して検討した。 →基本的に、文字通りの表現とした。</p> <p>第一種免許 ⇒①&lt;第一B&gt;②&lt;種&gt;③&lt;免許&gt; 第二種免許 ⇒①&lt;第二B&gt;②&lt;種&gt;③&lt;免許&gt; 大型免許 ⇒①&lt;大&gt;②&lt;形B&gt;③&lt;免許&gt; 中型免許 ⇒①&lt;中&gt;②&lt;形B&gt;③&lt;免許&gt; 準中型免許 ⇒①&lt;副・準&gt;②&lt;中&gt;③&lt;形B&gt;④&lt;免許&gt; 普通免許 ⇒①&lt;普通&gt;②&lt;免許&gt; 大型特殊免許 ⇒①&lt;大&gt;②&lt;形B&gt;③&lt;特別・特殊&gt;④&lt;免許&gt; 大型二輪免許 ⇒①&lt;大&gt;②&lt;オートバイ&gt;③&lt;免許&gt; 普通二輪免許 ⇒①&lt;普通&gt;②&lt;オートバイ&gt;③&lt;免許&gt; 小型特殊免許 ⇒①&lt;小&gt;②&lt;形B&gt;③&lt;特別・特殊&gt;④&lt;免許&gt; 原付免許 ⇒①&lt;オートバイ&gt;の右手&lt;50&gt;②&lt;オートバイ&gt;③&lt;免許&gt; 大型第二種免許 ⇒①&lt;大&gt;②&lt;形B&gt;③&lt;第二B&gt;④&lt;種&gt;⑤&lt;免許&gt; 中型第二種免許 ⇒①&lt;中&gt;②&lt;形B&gt;③&lt;第二B&gt;④&lt;種&gt;⑤&lt;免許&gt; 普通第二種免許 ⇒①&lt;普通&gt;②&lt;第二B&gt;③&lt;種&gt;④&lt;免許&gt; 牽引免許 ⇒①&lt;牽引&gt;②&lt;免許&gt;</p>
北海道	●	「準」+「中」+「免許」の手話利用																													
東北	●	「準」+「中」+「免許」																													
関東	●	「中」(学I P140)+「副・準じる」(学I P57)+「免許」(学I P502)																													
北信越		順+中+免許																													
東海	●	「準」「中」「免許」																													
近畿	●	「準」+「中」+「免許」																													
中国	●	準+中+免許																													
四国	●	「準」+「中」+「免許」																													
九州	●	手話「準」+手話「中」+手話「免許」																													
9	<p><b>スポーツクライミング</b></p> <p>フリークライミングともいい、ロッククライミングの内、安全のため確保用具は使用するが、それに頼ることをせず自己の技術と体力で岩を登るものを指す。 登りきった結果、確保用具を使用しないで登ったのと同じなので「フリー」の名が付く。</p>	<p>&lt;ロッククライミング&gt;:2016-34</p> <table border="1"> <tr><td>北海道</td><td>◎</td><td>クライミングする様子</td></tr> <tr><td>東北</td><td>●</td><td>「スポーツ」+「ロッククライミング」</td></tr> <tr><td>関東</td><td>●</td><td>「ロッククライミング」(新16P34 5指を折り曲げた両手で岩を登るように交互に3回上げる)+左手そのまま、腰の前で指先を下に小指側を腹に向けた右手を左右に振る(腰にロープ命綱がないことを表す)</td></tr> <tr><td>北信越</td><td></td><td>スポーツ+ロッククライミング</td></tr> <tr><td>東海</td><td>●</td><td>「スポーツ」「ロッククライミング」 →今の「ロッククライミング」は「クライミング」に変更し、「ロッククライミング」は「岩」+「クライミング」にする。</td></tr> <tr><td>近畿</td><td>◎</td><td>「フリー」+クライミングをしている様子</td></tr> <tr><td>中国</td><td>●</td><td>スポーツ+クライミング</td></tr> <tr><td>四国</td><td>●</td><td>「スポーツ」+両手で登っていく様子</td></tr> <tr><td>九州</td><td>●</td><td>手話「スポーツ」+クライミングのしぐさ</td></tr> </table>	北海道	◎	クライミングする様子	東北	●	「スポーツ」+「ロッククライミング」	関東	●	「ロッククライミング」(新16P34 5指を折り曲げた両手で岩を登るように交互に3回上げる)+左手そのまま、腰の前で指先を下に小指側を腹に向けた右手を左右に振る(腰にロープ命綱がないことを表す)	北信越		スポーツ+ロッククライミング	東海	●	「スポーツ」「ロッククライミング」 →今の「ロッククライミング」は「クライミング」に変更し、「ロッククライミング」は「岩」+「クライミング」にする。	近畿	◎	「フリー」+クライミングをしている様子	中国	●	スポーツ+クライミング	四国	●	「スポーツ」+両手で登っていく様子	九州	●	手話「スポーツ」+クライミングのしぐさ	<p>● 組み合わせ</p>	<p>以前に確定された手話として、&lt;ロッククライミング(2016-34)&gt;がある。 →これに&lt;スポーツ&gt;を組み合わせることで、「スポーツクライミング」を表せる。</p> <p>⇒A:①&lt;競技・スポーツB(わ1-264・学I-60)&gt;②&lt;ロッククライミング(2016-34)&gt; ※東北班・北信越班・東海班の案を採用 B:①&lt;スポーツA(スポ-158・学I-60)&gt;②&lt;ロッククライミング(2016-34)&gt; ※中国班・四国班・九州班の案を採用</p>
北海道	◎	クライミングする様子																													
東北	●	「スポーツ」+「ロッククライミング」																													
関東	●	「ロッククライミング」(新16P34 5指を折り曲げた両手で岩を登るように交互に3回上げる)+左手そのまま、腰の前で指先を下に小指側を腹に向けた右手を左右に振る(腰にロープ命綱がないことを表す)																													
北信越		スポーツ+ロッククライミング																													
東海	●	「スポーツ」「ロッククライミング」 →今の「ロッククライミング」は「クライミング」に変更し、「ロッククライミング」は「岩」+「クライミング」にする。																													
近畿	◎	「フリー」+クライミングをしている様子																													
中国	●	スポーツ+クライミング																													
四国	●	「スポーツ」+両手で登っていく様子																													
九州	●	手話「スポーツ」+クライミングのしぐさ																													